

令和6年度
子どもへの意見聴取事業業務委託
Youth ミーティング
実施結果報告書

目次

I 業務実施概要	- 3 -
1. 子どもへの意見聴取開催の目的	- 3 -
2. 業務受託者と実施体制	- 4 -
3. 事業対象者及び事業スケジュール	- 4 -
II 実施結果詳細	- 5 -
1. 実施概要	- 5 -
2. めぐる Youth の意見のまとめ	- 6 -
3. 実施後のアンケート	- 7 -
III まとめ	- 9 -
1. 実施内容について	- 9 -
2. 実施方法や時間について	- 9 -
3. テーマ設定について	- 9 -
4. 参加者の意見について	- 9 -

I 業務実施概要

1. 子どもへの意見聴取開催の目的

目的

令和4年に成立した「こども基本法」の理念や「目黒区子ども条例」第12条の規定を踏まえ、年齢や発達の程度に応じた子ども意見発信の場の創出と子どもの社会への参画の機会拡充をめざす。また、現行の目黒区子ども総合計画の改定にあたり、その決定過程における子ども・若者の意見反映のための資料とする。

【こども基本法より抜粋】

(基本理念)

三 全てのこどもについて、その年齢及び発達の程度に応じて、自己に直接関係する全ての事項に関して意見を表明する機会及び多様な社会的活動に参画する機会が確保されること。

四 全てのこどもについて、その年齢及び発達の程度に応じて、その意見が尊重され、その最善の利益が優先して考慮されること。

【目黒区子ども条例より抜粋】

(子どもの参加)

第12条 子どもは、自分にかかわりのあることについて意見を述べたり、仲間をつくったり、様々な活動に参加したりする権利が尊重されなければなりません。

2 大人は、子どもの意見を受け止めるよう努めなければなりません。この場合、その年齢や成長に応じてふさわしい配慮をしなければなりません。

3 大人は、様々な体験や学習など子どもが活動できる機会をつくるよう努めなければなりません。

加えて、令和5年12月に国から示されたこども大綱は、子ども・若者育成支援推進法に関する大綱を包含するものとなった。よって現行の目黒区子ども総合計画にほとんど含まれていない、18歳以上の若者世代への支援施策についても総合計画に組み込んでいく必要が生じている。

目黒区は現行の子ども総合計画の改定にあたり、令和5年10月に区内在住の小学生・中高生に対して子ども総合計画の改定に係る基礎調査を実施しているが、若者世代への意見聴取は実施しておらず、若者世代への意見聴取は一つの課題である。

そうした背景の中、今般、区では若者世代を対象とした、オンライン座談会「めぐろYouthミーティング」を開催し、若者世代への支援策の足掛かりとする。

2. 業務受託者と実施体制

(1) 業務受託者

株式会社むーなび(東京都武蔵野市緑町2-1-4-402)

(2) 実施体制

めぐろ Youth ミーティングの実施については、機器の設定、会場設営から、ファシリテーターの確保、会議の進行・運営にいたるまでは委託者が実施。聴収するテーマの決定や実施方法、ミーティングの録音及び撮影を含む活動の様子、会議のテープ起こし、意見の集計・分析・調査については受託者が行った。また、実施結果は受託者から委託者である目黒区子育て支援課に報告した。

3. 事業対象者及び事業スケジュール

めぐろ Youth ミーティングは区内在住・在学・在勤高校生・若者世代(16歳～25歳を想定)に実施した。区報等で周知をし、応募は LoGo フォームを使用した。座談会で話したいテーマは応募時に聴収した。2024年7月6日(土)にオンライン会議にてめぐろ Youth ミーティングを開催し、高校生・若者世代の4名が参加した。

参加者公募	令和6年5月1日(水)～6月3日(月)
参加者決定・通知	令和6年6月21日(金)
オンライン会議の実施	令和6年7月6日(土) 13:00～15:00
テープ起こし	令和6年7月11日(木)
意見のまとめ作成	令和6年8月15日(木)

Ⅱ 実施結果詳細

1. 実施概要

実施日	令和6年7月6日(土) 13:00～15:00
実施場所	オンライン会議 Webex 主催は目黒区総合庁舎4階政策会議室から配信
参加者	・よこやま(大学2年生・区内在住) ・てん(大学2年生・区内在住) ・まりか(高校2年生・区内在住) ・せり(高校3年生・区内在住) ファシリテーター:大竹智(目黒区子ども政策推進会議委員) 事務局:目黒区子ども子育て支援課 担当与那覇・佐藤

2. めぐる Youth の意見のまとめ

(1) 学習スペースの確保について

特に中高校生はカフェやファミレス、区の図書館では時間制限や席数の制限があり、十分な勉強時間と場所が確保できていない。大学生になると大学のラウンジ等を利用できるようになるが、区民が優先される予約システムや、区に勉強ができる場所をもっと増やしてほしい。

(2) 公教育の充実について

海外留学を家庭の環境に左右されずに挑戦できる機会を平等に与えてほしい。海外での留学経験や交流体験は、その後につながる新しい視点が得られる。また学校の授業だけでは難関校になればなるほど難しくなると思う。経済的に塾に行けない子どもに対しての支援策が必要だと思う。

(3) 自転車環境の整備について

自転車は車と同じ車道を走るルールにも関わらず路上駐車や植栽の影響で安全に走行ができなくなっていると思う。自転車専用レーンの設置をしてほしい。歩道が狭く、登下校中の小学生も危険にさらされている。また駐輪場の整備も不足していると思う。

(4) 目黒区の特色について

目黒区に住んでいると周囲に伝えると、「いいところにすんでいるね」と言ってもらえるブランド力がある。交通の便も良いのに、落ち着いた雰囲気があり、個人商店も多い。逆にそのブランド力や住民の経済力に甘え、課題が埋もれてしまっているとも感じる。

(5) 意見公募の募り方について

直近では学校名について公募で意見を聞いていたが、最終的にはありきたりな学校名になってしまっていた。公募で集まった意見や学校に通う当事者の意見が反映されていないと感じた。

(6) Youth 世代への広報の効果的な方法について

区の公式 LINE アカウントを活用すると今の若者世代にもリーチができると思う。他自治体でもアンケートやアンケート結果の共有など有効的に活用している事例もある。また TikTok や Instagram など若者が使用する SNS も活用するとリーチできると思う。

(7) 災害対策について

目黒区には木造密集地域があり、災害時の対策が地域住民にどこまで浸透しているのかが気になる。新しくできた防災公園では災害用の備蓄物を定期的に配布をしていて地域のつながりができていることが良いと思ったが、その担い手も高齢者ばかりであった。

(8) 店先での喫煙問題について

路上喫煙や歩きタバコは禁止と謳っているが、店先での喫煙 OK は実際どうなのか。飲食店密集地域やタバコ店の近くに学校があると子どもたちは少し迷惑ではないのか。ショッピングモールなどにあるたばこ専用スペースなどを設けるといいと思う。

※議事録（テープ起こし）は別添。

3. 実施後のアンケート

(1) アンケート設問

設問項目	
Q1	今回の「めぐろ Youth ミーティング」の実施をどこで知りましたか。 ☐ 地域の施設や掲示板でチラシをみた ☐ 学校でチラシをみた ☐ 親族からの紹介 ☐ 友人・知人からの紹介 ☐ 区報でみつけた ☐ ホームページでみつけた ☐ その他
Q2	「めぐろ Youth ミーティング」への参加を決めた主な理由を教えてください(複数回答可)。 ☐ 話したいトークテーマがあったため ☐ Web 会議に興味があったため ☐ 同世代の方の意見を聞いてみたかったため ☐ 謝礼があったため ☐ 区政に参加・参画してみたかったため ☐ その他
Q3	「めぐろ Youth ミーティング」に参加されて、率直な感想をお聞かせください。 ☐ 参加してよかった ☐ どちらかといえば参加してよかった ☐ 参加しなくてよかった ☐ どちらでもない
Q4	「めぐろ Youth ミーティング」の進め方や時間配分は、適切でしたか。 ☐ 適切である ☐ どちらかといえば適切である ☐ どちらかといえば適切でない ☐ 適切でない
Q5	「めぐろ Youth ミーティング」に参加されて、より話合っていたいテーマがありましたら教えてください。 (自由記述)
Q6	今後、このような若者向けの意見交換の場に参加したいと思いますか。 ☐ 参加したい ☐ どちらかといえば参加したい ☐ どちらかといえば参加したくない ☐ 参加したくない
Q7	「めぐろ Youth ミーティング」の実施に関することや、その他自由意見があればご記入ください。 (自由記述)

(2)有効アンケート結果(※3件)

Q1. 今回の「めぐろ Youth ミーティング」の実施をどこで知りましたか。

- ・親族からの紹介:1件
- ・区報でみつけた:1件
- ・その他:1件 (区議の X で)

Q2. 「めぐろ Youth ミーティング」への参加を決めた主な理由を教えてください(複数回答可)。

- ・区政に参加・参画してみたかったため:2 件
- ・同世代の方の意見を聞いてみたかったため:2 件
- ・話したいトークテーマがあったため:1件

Q3. 「めぐろ Youth ミーティング」に参加されて、率直な感想をお聞かせください。

- ・参加してよかった:3件

Q4. 「めぐろ Youth ミーティング」の進め方や時間配分は、適切でしたか。

- ・適切である:3件

Q5. 「めぐろ Youth ミーティング」に参加されて、より話合っていたいテーマがありましたら教えてください。

- ・若者の意見はどうやったら吸い上げられるか、LINE 等のサービスをいかに行政に活かすか、公教育について

Q6. 今後、このような若者向けの意見交換の場に参加したいと思いますか？

- ・参加したい:3件
- ・どちらかといえば参加したい:1件

Q7. 「めぐろ Youth ミーティング」の実施に関することや、その他自由意見があればご記入ください。

- ・行政の方も区民や若者の意見はどうやったら吸い上げられるか、苦心してらっしゃる様子を知れて、貴重な機会だったと思います。自転車や自習場所、教育についてなど当事者の視点はやはり必要だと感じました。このような機会が目黒区で推し進められることを期待します。
- ・同世代の区民と意見交換をすることで、自分自身が普段見逃している問題点に気がついたり、新しい解決策を考えられたりと有意義な時間が過ごせると思いました。より多くの人が参加したらさらに活発な意見交換が行われてより良いものとなると思います。

※参加者向け報告資料は別添。

Ⅲ まとめ

1. 実施内容について

若者世代から自由な意見を収集することを目的とした本事業において、みな初対面ではあったが、ファシリテーターの進行のもと、それぞれが感じる課題について、自由闊達な意見を数多く聴収できた。ただし、Youthミーティング内でも意見として挙げたが、当日の欠席者がいたものの結果的に4名のみの参加となったことから、広報の方法については今後検討する必要がある。

2. 実施方法や時間について

デジタル環境に慣れ親しむ今の若者世代にとって、初対面でのオンライン会議に不自由さや参加しづらさを感じている様子はなかった。また土日の日中に開催することで、移動中の駅構内のコワーキングブースから参加した若者がいたように、授業とも被ることはなく、参加のしやすかった時間帯と言える。ただし、参加者のPCやスマートフォンの通信環境によって発言が聞き取りづらい場面もあった。今後もメリットとデメリットを比較検討しながら、よりよい実施方法を検討すべきである。

3. テーマ設定について

今回は公募段階で話したいテーマを募っており、会議が始まってすぐに議題に入れたことは、目的といていた意見聴収の時間を有効に活用できたといえる。またアンケートにもあるが、より話し合っていたいテーマが会議「後」にも残ったことから、前向きに会議に参加していたことがうかがえる。アンケート結果からも進め方や時間配分についても好評の意見が挙げた。

4. 参加者の意見について

参加者は全員区内在住で、区内で学生時代を過ごしたまたは過ごしているため、より生活者の目線での意見を聴収することができた。計画にどれくらい、そしてどのように反映できるかは今後協議検討を重ねていくが、区民の若者の意見を聴収できたことは非常に有意義だと考える。今後も会議の開催を重ねることで、より幅広い意見を聴収できることが期待できる。

令和6年度 子どもへの意見聴取事業業務委託
めぐろ Youth ミーティング 実施結果報告書

発行者 目黒区子育て支援課
東京都目黒区上目黒2丁目19番15号
電話 03-5722-8723
発行日 令和6年8月
協力 株式会社むーなび